

横断的に取り組む視点

▶▶▶人口減少に歯止めをかける移住・定住支援の推進

- 50歳以降の世代では転入傾向が見られるものの、少子化や若い世代の進学・就職等による大幅な転出超過等により人口減少が進行。
- 若い世代や子育て世帯の移住・定住を推進するために、ライフスタイルに応じたニーズを掘り起こし、御宿町が若者や子育て世帯を中心に定住先として「選ばれる」ための施策を推進することが重要。
- 現計画の定住化支援策に加え、関係人口の創出やコロナ禍によって加速したICTの活用、雇用の場の確保対策など、新しい視点を取り入れた人を呼び込む施策を検討することが重要。

▶▶▶DX推進による新たな生活環境の構築と行政運営の確立

- 新しい価値やサービスが創出され、人々に豊かさをもたらす Society5.0 の実現やデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進が求められている。
- 自治体DXの推進に向け、組織における推進体制を整備し、各分野との横断的な連携体制を構築。
- 移住・定住施策におけるテレワークやワーケーションの推進、観光の分野との連携。
- With/After コロナ時代においても Society5.0 や DX の視点がより一層重要になることから、時代のニーズにあわせた技術革新へ敏感に対応する。

▶▶▶御宿版 SDGs の実現

- 町政の推進においても、SDGs という世界共通のものさしで設定された大きな目標に組み込んでいくことが必要。
- S(サステナブル)を念頭に、「持続可能な御宿町」、「御宿住民の幸せの持続」、「安心・安全の持続」、「地域間格差の無い福祉・医療体制・教育の持続」、「自然、文化の持続」、「住環境の持続」、「農業、漁業、観光業等地元産業の持続」など、様々な分野において御宿版 SDGs の取組みを推進する。